

JIS

紙及び板紙－表面粗さ及び平滑度試験方法 (エア・リーク法)－ プリント・サーフ試験機法

JIS P 8151 : 2004

(JAPAN TAPPI/JSA)

(2008 確認)

平成 16 年 3 月 20 日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 紙・パルプ技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	尾 鍋 史 彦	東京大学
(委員)	間 邦 彦	日本製紙連合会
	飯 田 清 昭	紙パルプ技術協会
	石 井 健 三	大日本印刷株式会社
	石 田 満 男	富士ゼロックスオフィスサプライ株式会社
	内 海 正 雄	三菱製紙株式会社
	大 盛 啓 一	十条セントラル株式会社
	岡 山 隆 之	東京農工大学
	川 岸 秀 治	日本板紙株式会社
	岸 恭 二	日本製紙株式会社
	熊 谷 健	熊谷理機工業株式会社
	佐 竹 寿 巳	全国クラフト紙袋工業組合 (日本製袋株式会社)
	箱 守 正 和	王子製紙株式会社
	古 市 浩	中越パルプ工業株式会社
	水 谷 壽	株式会社東洋精機製作所
	若 松 操	レンゴー株式会社

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 16.3.20

官 報 公 示：平成 16.3.22

原 案 作 成 者：紙パルプ技術協会

(〒104-8139 東京都中央区銀座 3 丁目 9-11 紙パルプ会館 TEL 03-3248-4841)

財団法人日本規格協会

(〒107-8440 東京都港区赤坂 4 丁目 1-24 TEL 03-5770-1573)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 二瓶 好正)

審議専門委員会：紙・パルプ技術専門委員会 (委員長 尾鍋 史彦)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 標準課環境生活標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1 丁目 3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

まえがき

この規格は、工業標準化法第 12 条第 1 項の規定に基づき、紙パルプ技術協会 (JAPAN TAPPI)／財団法人日本規格協会 (JSA) から、工業標準原案を具して日本工業規格を制定すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が制定した日本工業規格である。

制定に当たっては、ISO 8791-4 : 1992, Paper and board – Determination of roughness/smoothness (air leak methods) – Part 4 : Print-surf method を基礎として用いた。

この規格の一部が、技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願にかかわる確認について、責任はもたない。

JIS P 8151 には、次に示す附属書がある。

附属書 A (規定) 表面粗さ (μm) の計算

附属書 B (規定) プリント・サーフ試験機の整備

附属書 C (規定) 面積式流量計の補正

附属書 D (規定) ISO 参照標準によるプリント・サーフ試験機の補正

附属書 1 (参考) JIS と対応する国際規格との対比表

目 次

	ページ
序文	1
1. 適用範囲	1
2. 引用規格	1
3. 定義	1
4. 原理	2
5. 装置	2
5.1 空気の供給装置	2
5.2 測定ヘッド圧調整装置	2
5.3 測定ヘッド	3
5.4 バッキングホルダ	3
5.5 バッキング	3
5.6 クランプ装置	3
5.7 測定装置	3
6. 試験片	5
7. 操作	5
8. 試験結果の表し方	6
9. 精度	6
10. 報告	6
附属書 A (規定) 表面粗さ (μm) の計算	7
附属書 B (規定) プリント・サーフ試験機の整備	8
附属書 C (規定) 面積式流量計の補正	10
附属書 D (規定) ISO 参照標準によるプリント・サーフ試験機の補正	11
附属書 1 (参考) JIS と対応する国際規格との対比表	12
解 説	15

紙及び板紙—表面粗さ及び平滑度試験方法 (エア・リーク法) —プリント・サーフ試験機法

Paper and board—Determination of roughness/smoothness (air leak methods)—Print-surf method

序文 この規格は、1992年に第1版として発行された **ISO 8791-4**, Paper and board—Determination of roughness/smoothness (air leak methods)—Part 4 : Print-surf method を翻訳し、技術的内容を変更して作成した日本工業規格である。

なお、この規格で点線の下線を施してある箇所は、原国際規格を変更している事項である。変更の一覧表をその説明を付けて、**附属書 1 (参考)** に示す。

1. 適用範囲 この規格は、紙及び板紙の表面粗さをプリント・サーフ試験機によって測定する方法について規定する。

備考1. この規格は、測定ヘッドの保護リングに密着可能なすべての紙及び板紙に適用できる。

2. この規格の対応国際規格を、次に示す。

なお、対応の程度を表す記号は、**ISO/IEC Guide 21** に基づき、IDT (一致している)、MOD (修正している)、NEQ (同等でない) とする。

ISO 8791-4 : 1992, Paper and board—Determination of roughness/smoothness (air leak methods)—Part 4 : Print-surf method (MOD)

2. 引用規格 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版 (追補を含む。) を適用する。

JIS P 0001 紙・板紙及びパルプ用語

JIS P 8110 紙及び板紙—平均品質を測定するためのサンプリング方法

備考 **ISO 186 : 1994**, Paper and board—Sampling to determine average quality からの引用事項は、この規格の該当事項と同等である。

JIS P 8111 紙、板紙及びパルプ—調湿及び試験のための標準状態

備考 **ISO 187 : 1990**, Paper, board and pulps—Standard atmosphere for conditioning and testing and procedure for monitoring the atmosphere and conditioning of samples からの引用事項は、この規格の該当事項と同等である。

JIS Z 8401 数値の丸め方

3. 定義 この規格で用いる主な用語の定義は、**JIS P 0001** によるほか、次による。

a) **プリント・サーフ表面粗さ (Print-surf roughness)** この規格で規定した条件下で、一枚の紙又は板紙